



JASDAQ

平成 26 年 11 月 14 日

各 位

シライ電子工業株式会社
代表取締役社長 小島 甚昭
(コード番号: 6658)

問い合わせ先: 取締役 経営管理担当
亀井正巳

電話番号: 075-861-8100

営業外損失の計上及び平成 27 年 3 月期第 2 四半期業績予想との差異の発生に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）におきまして、下記のとおり営業外損失の計上を行うことになりました。

また、平成 26 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）の連結業績予想及び個別業績予想に差異が発生することになりましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外損失の計上

当社グループは海外子会社に対して、グループ間で設備投資資金及び運転資金の貸付けを実行しております。当第 2 四半期の為替相場は前期末の為替相場との比較において円高でありましたため

(海外子会社の第 2 四半期末が 6 月末のため)、連結決算上 214 百万円の為替差損を計上することになりましたのでお知らせいたします。

なお、これは平成 27 年 3 月期第 2 四半期末時点での為替相場による評価換算であり、通期の為替差損益の額は、平成 27 年 3 月末の為替相場により変動いたします。

2. 業績予想との差異

① 平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想数値との差異

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円・%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	12,700	250	20	△30	△2.15
今回実績(B)	13,153	365	38	△83	△5.97
増減額(B-A)	453	115	18	△53	—
増減率(%)	3.6	46.0	90.0	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	11,998	305	879	633	45.33

② 平成 27 年 3 月期第 2 四半期個別業績予想数値との差異
(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

(単位：百万円・%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	5,800	10	60	10	0.72
今回実績(B)	6,146	125	262	139	9.98
増減額(B-A)	346	115	202	129	—
増減率(%)	6.0	1,150.0	336.7	1,290.0	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	5,637	38	156	41	2.93

3. 差異発生の理由

(連結)

売上高につきましては、プリント配線板事業におきましては、国内外においてカーエレクトロニクス関連やホームアプライアンス関連の受注が堅調に推移し、電子応用関連の受注が予想以上に好調でありました。また、検査機・ソリューション事業は、プリント配線板外観検査機 (VISPER シリーズ) が、中国を中心に海外から安定した受注があり、ソリューションビジネスの商品群もプリント配線板用ホールチェッカーを中心に拡販できたことから、平成 26 年 5 月 15 日に公表 (以下「前回公表」という) いたしました業績予想に比べ 4 億 53 百万円増収となる 131 億 53 百万円となりました。

営業損益につきましては、売上高が増収となったことや前連結会計年度に実施した連結子会社との合併効果、またプリント配線板外観検査機の新製品投入による利益率の改善等により、前回公表いたしました業績予想に比べ 1 億 15 百万円増益となる 3 億 65 百万円の営業利益となりました。

経常損益につきましては、予想以上に為替差損が発生したものの営業利益が増益となったことにより、前回公表いたしました業績予想に比べ 18 百万円増益となる 38 百万円の経常利益となりました。

四半期純損益につきましては、更なる経営改善を目的に固定資産の譲渡を行い、当該不動産に係る減損損失を計上することとなったことにより、前回公表いたしました業績予想に比べ 53 百万円悪化となる 83 百万円の四半期純損失となりました。

(個別)

売上高につきましては、国内市場は厳しい状況にあるものの、カーエレクトロニクス関連やホームアプライアンス関連の受注を確保し、電子応用関連の受注が予想以上に好調であったことから、前回公表いたしました業績予想に比べ 3 億 46 百万円増収となる 61 億 46 百万円となりました。

営業損益につきましては、上述の連結の内容と同様の理由により、前回公表いたしました業績予想に比べ 1 億 15 百万円増益となる 1 億 25 百万円となりました。

経常損益につきましては、営業利益の増益や海外子会社への貸付に対して発生する為替差損益が円安の進展に伴い為替差益を計上することになったことなどにより、前回公表いたしました業績予想に比べ 2 億 2 百万円増益の 2 億 62 百万円の経常利益となりました。

四半期純損益につきましては、更なる経営改善を目的に固定資産の譲渡を行い、当該不動産に係る減損損失を計上することになったものの、経常利益の増益により、前回公表いたしました業績予想に比べ 1 億 29 百万円増益の 1 億 39 百万円の四半期純利益となりました。

以 上